

2022年度の重点目標

| A. 組織の課題 | B. 今年度重点目標 | ①いつまでに (取組期限) | ②何(対象)をどこまでやるか | ③期待する効果 |
|--|--------------------------------------|------------------|---|--|
| <p>◇地域の未来を創造する大学としての認知度定着(～2029年) ◇地域の健康を支える大学への躍進(～2029年)</p> | 1 豊橋市こども未来部との連携事業を定着させる。 | ～2023年度 | 短期大学部幼児教育・保育科とこども未来部各部署との調整を図り、連携メニューを具体化し、実施できるものから、取り掛かる。 | 附属園を持たない大学であるが、地域の信頼を得ている大学としての地位を固める。 |
| | 2 豊川市、豊川市民病院、イオンモール豊川との連携事業を新規に創出する。 | ～2023年度 | 豊川市、豊川市民病院、イオンモール豊川と本学各部署との調整を図り、連携メニューを具体化し、実施できるものから、取り掛かる。 | 東三河地域で唯一人口増、また、タイ規模商業施設が誕生し、世間の注目を集めているところで、本学との連携メニューを実現することで、地域における本学の認知度を高める。 |
| | 3 サーラグループ及び豊橋信用金庫との連携事業を軌道に乗せる。 | ～2023年度 | サーラグループとの暮らし創造LABO及び学び共創LABOを具体化し、できることから、形にしていく。また、豊橋信用金庫との連携事業についても、定例化できるものは、定例化できるようにコーディネートしていく。 | 地元有力企業との連携事業を定着させることで、地域における本学の認知度を確固たるものとする。 |
| | 4 豊橋みらい会議において、豊橋市の活性化に寄与する。 | ～2023年度 | 豊橋みらい会議エリアマネジメント専門部会(事務局会議)において、本学として貢献できる分野を模索し、提案できる部分については、積極的に提案する。 | 地域の未来を創造する大学としての地位を確立する。 |